

20 国産花きイノベーション推進事業 [新規]

【500（－）百万円】

対策のポイント

国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、日持ち性向上等の国産花きの強みを活かす生産・供給体制の強化と需要拡大に向けた取組等を支援します。

<背景／課題>

- ・我が国の花きは、オランダの国際園芸博覧会の品種コンテストで最高得点を獲得するなど世界的に高い評価を得ており、近年、輸出額は増加傾向にあります。一方、国内では安価な輸入切り花が増加しており、国産シェアの奪還と輸出の拡大が喫緊の課題となっています。
- ・このため、国産花きの生産・供給体制の強化、輸出や需要拡大のための取組を推進することが必要です。

政策目標

- 国産花きの産出額の拡大
(3,671億円（平成23年）→4,052億円（平成27年）)
- 花き輸出額の増大
(83億円（平成24年）→150億円（平成32年）)

<主要内容>

1. 花き関係者の連携への支援

国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、生産者、研究機関、流通関係者、販売事業者等花き業界関係者が一堂に会して戦略を策定する協議会の設置・運営を支援します。

2. 国産花きの強みを活かす生産・供給体制の強化

国内外の花きの需要に柔軟に対応するため、国産花きの強みを活かす生産・供給体制の強化に向けた、日持ち性向上のための管理技術の導入や物流の効率化等を推進します。

3. 国産花きの需要拡大

国産花きの需要拡大に向けた、花育の普及、プロモーション活動、オフィスや介護施設等における花や緑の利用を推進します。

（補助率：定額、1／2
事業実施主体：花き業界関係者が組織する協議会等）

（お問い合わせ先：
生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室（03－6738－6162））

国産花きイノベーション推進事業(新規)

500,000(一)千円

- 国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、花き業界関係者が一体となった、日持ち性の向上等の国産花きの強みを活かす生産・供給体制の強化と需要拡大に向けた取組等を支援。

1. 花き関係者の連携への支援

- ・国産シェアの奪還と輸出拡大を図るため、生産者、研究機関、流通関係者、販売業者等、花き業界関係者が一堂に会した協議会の設置・運営

↓(支援の効果(例))

○産地が連携し年間を通じた安定供給体制を確立

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A産地												
B産地												
C産地												
D産地												

消費ニーズに沿った商品供給を行うことにより、輸入商品に対抗し、国内シェアを奪還するとともに安定的な輸出を実現

2. 国産花きの強みを活かす生産・供給体制の強化

- ・国産花きの強みを活かす生産供給体制の強化に向けた、日持ち性を向上させる管理技術の導入や物流の効率化等を推進

↓(支援の効果(例))

○産地の出荷前処理、流通段階の温度管理の徹底等による日持ち保証販売の拡大

産地

- ・採花後の前処理(抗菌剤等で水揚げ)の実施・温度管理(低温保管)等の徹底



市場

- ・荷捌き場(保温カーテンの利用)、輸送トラックの温度管理の徹底



小売店

- ・市場から店舗まで搬送時の温度上昇の防止(保冷車の利用)、低温ショーケースの利用等



日持ち保証販売、産地表示により国産の強みを強調

3. 国産花きの需要拡大

- ・国産花きの需要拡大に向けた、花育の普及、プロモーション活動、オフィスや介護施設における花と緑の利用推進

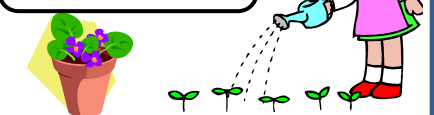


↓(支援の効果(例))

- オフィスや福祉施設での花と緑の利用拡大
- 学校・介護施設等での花育活動の浸透
- 生け花等我が国花文化の普及・継承



日常に花のある生活の定着



イノベーション実現
国産シェアの奪還
輸出拡大

生産者

流通関係者

販売業者

研究機関

関係者が一体となった取組

実需者